



《報道発表》

ショールームの約半分！自動車ディーラーに大規模キッズスペース 地域の憩い場へ「コドモのあそびば LiMO LiMO もりた」

5月9日(土) 静岡県浜松市「スズキアリーナ森田」内に誕生

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、株式会社スズキ販売新静岡（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長：宮崎貴久）が運営する静岡県浜松市の自動車ディーラー「スズキアリーナ森田」店内に、5月9日（土）から新設する「コドモのあそびば LiMO LiMO もりた（りもりも）もりた」をプロデュースしました。

「コドモのあそびば LiMO LiMO もりた」は、「スズキアリーナ森田」が地域の公園のような感覚で、近隣の子どもから大人まで幅広い年齢層のお客様に憩いの場として気軽に利用してもらいたいという思いで開設、「同遊び場利用のお客様には、店員から営業を持ちかけない」というルールが設けられます。このスペースは、ショールームの半分近くを占める約80㎡（約25坪）の、発達段階に応じて多様なあそびを親子一緒に楽しむことができる無料のあそび場です。施設名は地域の子どもの健康を願う「元気もりもり」に由来しています。スペース内は、家族で車に乗って海や山といった自然へ出かけるシーンをイメージしてデザインされました。まるで樹木の中にいるような感覚で遊べる「シンボルツリーハウス」や、岩壁を登っているような気分になれる「クライミングウォール」など、「こころ・頭・からだ」を存分に使って遊べる遊具が子どもたちを魅了します。



シンボルツリーハウス

今回、「『スズキアリーナ森田』を地域の人々の暮らしに寄り添い、愛される店舗にしたい」というご要望があった株式会社スズキ販売新静岡様から、室内あそび場「キドキド」運営のほか、教育施設、ホテル、病院など過去のキッズスペースプロデュースの実績で高い評価をいただいたボーネルンドをご指名いただき、店舗内のあそび場導入に携わることになりました。自動車ディーラーにおいて、ボーネルンドによるここまでの規模でのプロデュースは初めての事例です。今後もボーネルンドでは、あそびの社会インフラ化を目指し、あらゆる生活シーンであそび環境を積極的に創造し、子どもが自発的にのびのびと遊ぶ機会を提供してまいります。



店内遊具イメージ

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国86カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千カ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国20箇所、年間243万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国32箇所、年間300万人以上の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーネルンド 広報室 担当：村上 TEL：03-5785-0860 E-mail：y-murakami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担当：五味渕、坪本、山口 TEL：03-4580-9104 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》	
株式会社ボーネルンド TEL：0120-358-518	